

2026年2月27日

各 位

株式会社 紀陽銀行

大阪フォーミング株式会社向け 「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の実行について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、大阪フォーミング株式会社（代表取締役社長：奥野 芳昭、以下、同社）に対し、「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、本商品）」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本商品は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼすポジティブならびにネガティブな影響を分析・評価し、プラスの影響（ポジティブ・インパクト）の拡大とマイナスの影響（ネガティブ・インパクト）の抑制に向けた取り組みを支援する商品です。同社は、ポジティブ・インパクトを拡大するテーマおよびネガティブ・インパクトを抑制するテーマを特定し、それぞれ目標とKPIを設定しました。当行は、定期的にお客さまが設定したKPIの達成状況を確認し、サステナビリティ経営の高度化に向け支援します。

紀陽銀行は、今後も地域の事業者の皆さまのSDGs達成に向けた取り組みを支援することで、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1. 本件概要

借入人	会社名	大阪フォーミング株式会社
	所在地	大阪府岸和田市河合町894-2
	代表者	奥野 芳昭
	設立	1971年8月
	事業内容	① ナット・パーツ等の自社ブランド品の製造・販売 ② 特殊圧造品の開発・試作・製造 ③ ねじ工場向けソフトウェアの開発・販売 ④ コンピュータ・ネットワークのメンテナンス ⑤ ばねの製造・販売
実行日	2026年2月27日	
融資金額	100百万円	
期間	5年	

2. 同社が事業を通じて特定したインパクト

ポジティブ・インパクトの拡大	・ 高品質なナット・パーツ製造によるものづくりへの貢献 ・ 働きやすい環境整備と若年者雇用の推進
ネガティブ・インパクトの抑制	・ 環境に配慮した製造と経営

・本件は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定する「ポジティブインパクト金融原則（PIF原則）」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンドオピニオンを取得しております。

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

